

縄文時代の食器

あさばち

ちゅうこう ど き

浅鉢と注口土器

ふか

あさ

うつわ

浅鉢は深さの浅い器です。縄文時代の人々は、浅鉢に食べ物を盛り、そこから手に取って食べたと考えられます。浅鉢はみんなで共用する食器でした。浅鉢には木製、土製のものがあり、大きさは様々なものがあります。

きょうよう

しょつき

もく せい

ど せい

また現在の土瓶のような注ぎ口をもつ「注口土器」があります。水を注ぐときに使われたと考えられています。

ど びん

そそ